

2011-R048

2011年4月20日

## Evernote、世界中で急激に伸びるユーザーとトラフィックに対応するため、 プライマリーネットワークプロバイダーに NTT コミュニケーションズを採用

NTT コミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、マルチプラットフォームの記憶の拡張サービスを提供している Evernote Corporation(エバーノート・コーポレーション、本社:カリフォルニア州マウンテンビュー、CEO:Phil Libin、以下:Evernote)が、急激に伸びるユーザーとトラフィックに対応するため、本社データセンターと世界をつなぐネットワークプロバイダーとして NTT Com の在米現地法人 NTT アメリカを採用し、NTT Com の「グローバル IP ネットワークサービス」<sup>\*1</sup>を利用することを発表しました。

昨年1年間で世界の Evernote ユーザーは 260 万人から 770 万人へと 3 倍に増加し、それに伴い 1 日の利用回数も、4200 万回から 1 億 4500 万回へ急増しました。日本のユーザー数も 100 万人以上増加し、日々のアクセス分析で見ると、日本のユーザーはアメリカについて世界で 2 番目に多く、全体の 28%を占めるまでに成長しました。また、最近ローカライズ版をリリースした韓国や中国/台湾からのアクセスも急増しています。

世界中で急激に増加するユーザーからのアクセスに対応し、最高レベルのサービスを提供できるトップクラスのネットワークパートナーを選定するため様々なプロバイダーにて試験運用をして評価した結果、Evernote のサービスを世界に届けるプライマリーネットワークとして、NTT Com のグローバル IP ネットワークサービスを採用することに決定しました。

Evernote の CTO である Dave Engberg(デイブ エングバーグ)は、次のように述べています。

「我々が最終的に NTT Com を選択した理由は、高品質なインフラと社員の専門性の高さです。また、日本とアメリカを結ぶ回線の選択肢の中で明らかにトップクラスの回線品質であり、Evernote にとって世界で 2 番目に大きい日本市場のお客様へ最上の使い勝手で我々のサービスをお届けするためには最善の選択だと考えています。」

NTT アメリカの代表取締役社長である五味和洋は、次のように述べています。

「インターネット発祥の地でもあるアメリカでは、ネットワークをインフラとした新しいサービスや事業モデルが次々に生まれ、成長を続けています。それを支えるプロバイダーとしての我々の責任も重くなっていますが、同時に IPv6 技術のパイオニアであり、かつアジア初の Tier1<sup>\*2</sup>プロバイダー

である NTT Com のネットワーク品質とサポート力で、ツイッターなどに続いて五本の指に入る人気のweb サービスである Evernote のさらなる飛躍を支援する機会を得たことに大きな喜びを感じています。」

NTT Com は、今後も、より便利で品質の高いサービスをグローバル規模で提供していきます。

\*1 NTT Com がグローバル Tier1 プロバイダとして世界の主要 ISP と直接接続して運用する日本、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアと世界主要各国に展開する高速・大容量の IP 通信サービスです。詳細は、<http://www.ntt.net/> を参照ください。

\*2 Tier1: インターネットの経路情報を他社から買わなくてよいほどの大規模な ISP グループのこと。

#### ■「EVERNOTE」とは

米国エバーノート・コーポレーションの運営するパーソナルクラウドサービスであり、世界中で 800 万人が利用しています。「EVERNOTE」はコンピュータ、携帯電話、その他あらゆるデバイスを利用して、ユーザが目にした情報を取り込み、保管し、また後日容易に検索して利用できるようにする「外部脳」を実現するサービスです。Windows、Mac、ウェブ、iPhone、iPad、Android を始めとする様々なデバイスからいつでもどこでも簡単に利用できます。

<http://www.evernote.com/>